

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |  |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号   | 3370105516     |            |  |
| 法人名     | 有限会社 幸生        |            |  |
| 事業所名    | グループホーム明日香     |            |  |
| 所在地     | 岡山県岡山市東区九幡44-5 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成24年2月16日     | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3370105516&amp;SCD=320&amp;PCD=33">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3370105516&amp;SCD=320&amp;PCD=33</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                    |  |  |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ライフサポート                  |  |  |
| 所在地   | 岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO・会館 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成24年3月9日                          |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スタッフ一同仲良く信頼関係が築けケアマネ、看護師、栄養士の経験を活かし、ご利用者様の健康面、立場になって考え、真心を持って接することとし、ご利用者様が安らげる安心した生活を送って頂けるようコミュニケーションを図っています。又、私達はグループホーム明日香の理念に基づきご利用者様1人1人を尊敬し、尊重し誠実に思いやりを持って笑顔で接していきたいと思ひます。これからも、地域の方々との交流を大切に協力して頂きながら、いつでも気軽に遊びに来られるような雰囲気作りを目指し笑顔あふれるグループホーム明日香として、スタッフ一同頑張りたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成22年度外部評価免除の認可を受けた。同年度の運営推進会議も6回開催しており、地域の人々との交流も活発になってきたが、平成23年度終りになって、管理者と計画作成担当者が退職し、新しく就任して、3~4ヶ月経過したばかりの時期の訪問となった。他の職員の出入りもあったが、ようやく落ち着いてきたようだ。職員は全員で9人、常勤4人、夜勤専従者が2人居る。利用者はずっと以前から居た人は3人となり、ここ2~3年に入所した人が多く、入れ替わったと言う感じで、男性4人女性5人となった。職員は「利用者の表情が大変良いので、ここで働く事に決めました。そして職員同士でも言い易い関係になっております」と話してくれた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)              | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|--------------------|-----|---|---|---|---|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 事業所理念に基づいて、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている。   | リビングルームに「笑顔・挨拶・誠実・思いやり」という理念が大きな紙に書いて貼ってある。まだ管理者と計画作成担当者が就任して間もないため、その実践については今後職員と共に話し合っていく事に期待しておこう。 | 理念の言葉はわかりやすく、具体的な言葉であるが、利用者や家族に対して職員がどうすれば良いのか、それをどう評価すれば良いのか等実施していく必要な行動をもう少し具体化してもらいたい。 |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域近所の方が野菜や花、手作り品を持参してくれ、花壇の手入れなども行って下さいます。又、入所者、職員と話が合います。                      | ホームの周辺は畑や田が多く、近所の方が花や作物を差し入れてくれる。認知症の事等相談に来たり、地域の中で話し合う機会もあり、地域の方々との交流も深まってきた。                        |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている。                               |   |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 地域推進委員会において、現状の様子を報告させて頂き、入所者の方へサービス提供の報告や今後のサービス提供の報告や今後のサービス提供の向上についての取り組みの報告 | 平成22年度は運営推進会議の運営を認められ、外部評価隔年免除の認可を得た。その後も年6回、包括支援センターの出席も得て、地域の方々とも色々な面での協力が得られるよう出席者間でよく話し合っている。     | 運営推進会議を評価されて外部評価の減免につながっているため、会議は運営推進会議のメンバーの拡大や全体の活性化に努めて、家族や地域との連繫をしていてもらいたい。           |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 地域の老人会へ参加させて頂いたり又、推進委員会に参加させて頂いたりしております。  | 運営上、利用者の事で問題があれば、市の担当の職員と相談し指導を受けている。包括支援センターからも相談があり、よく話し合っている。                                      |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 代表者、全ての職員が入所者の方々に対し理解し日々楽しく安全に過ごせるよう工夫しております。                                   | 拘束や虐待の事は当然のこととして話し合ったり、認識している。しかし、利用者の安全と健康は第一であり、危険を回避するために拘束的な大声や行動をする事もあるが、その後のコミュニケーションを大切にしている。  |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待防止法に基づき職員同士のケアの状況を確認し、虐待行為等されることのないよう注意を払い防止するよう努めております。                      |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 管理者と職員は、日常生活自立支援事業や青年後見制度について学び、利用者が活用できるよう話し合い情報を提供できるよう支援している。  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時や契約解除の際利用中の料金改定時、利用者や家族にとって契約内容について、分かりにくかったり、不安や疑問が生じないか、利用者の立場に立って確認し、十分な説明を行い理解、納得を図っている。                 |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族には手紙や、訪問時常に問いかけ、何でも話し合い相談してもらえような雰囲気づくりに留意している。出された意見、要望等は職員間で話し合い反映させている。                                   | 家族が来訪したり、利用料を持参してきた時等の機会に、利用者の生活状況や健康状態等報告する。そんな家族の反応や話の中の言葉を傾聴して気がついた事は職員同士よく話し合っている。          |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 代表者、管理者は常にコミュニケーションを図り月に一度のミーティング意外にも日々話し合い職員の要望や意見を聴くよう心がけ、反映させている。  | 職員ミーティングには社長も出席する。来年度は管理者も計画作成担当者も入れ替わった職員も新しい人が居るので、日々のコミュニケーションを大切にして、今後の体制作りを活かしていかなければならない。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し職員がやりがいを感じ向上心を持って働けるよう働き掛けています。  |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 代表者は職員育成の重要性を認識し、事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにしている。全ての職員が質を向上させていけるよう職員全体にケアの技術面だけでなく利用者との関わり方について指導を実施している。 |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他グループホームへの見学、職場内での仕事の悩みの解消など、事業所外の人材との交流を作り意見交換したり、経験をケアに活かしサービスの質の向上に努めている。                                    |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 積極的に話しかけていき本人が今何を不安に思っているか困っているかを聞き出す。また、新しく入られた方との話は充分出来るようになってきている。 |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族様には当ホームを理解していただくために詳しく説明をし施設の現状を見ていただいて信頼関係を築いていきます。               |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 家庭的な雰囲気大切に施設であることを理解していただきご家族のご意見ご希望を賜るようにしています。                      |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | ご利用者様はお客様であると同時に家族でもあるとの立場にたち共に暮らす意識を持ち、共感と受容を大切にしています。               |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | スタッフはご家族との連絡を密にして本人様にとって何が大切かを共有できるようにしています。                          |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご本人にとって大切にしている思い出の人や場所等を知り機会があればその人や場所にお連れしたり、お会いできるように心がけています。       | このホームの中で利用者同士、みんな落ち着いている感じがする。利用者の表情が大変良いので職員も入社する事にしたとの事で、利用者も職員も新しい人が多い中でよく馴染みの関係にあると思う。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者の1人1人の性格や趣味等を把握して気の合う人同士を近くにするなど又男女の配置にも留意しています。                   |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |  |
|------------------------------------|------|--|---|--|--|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス利用者が終了しても、これまでの信頼関係を大切にしながら必要に応じて相談助言ができるよう支援に努めていきます。        |  |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |  |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者の気持ちを尊重し、寄り添いながらその人なりの暮らしが継続できる様に意向の把握に努め困難な時は本人本位で検討していきます。   | 「ここは利用者との話しも出来ているし、落ち着いている。でも職員の関わり方によっては自分を見抜かれる様なことを感じることもある。本気にかかわらんといけんとと思う」と職員の言葉。本当に利用者に関わっている言葉である。     |  |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 1人1人の生活歴や馴染みの暮らし方生活環境これまでのサービス利用についての情報把握に努めています。                 |  |  |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 1人1人の一日の過ごし方、身体状態残存能力を把握し自立支援できるよう努めていきます。                        |  |  |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人がより良く暮らせるために本人、家族、必要な関係者と連携を図りチームケアによりその人らしい現状に即した介護計画を作成しています。 | 平成23年12月にケアマネージャーが就任して、これまでの記録やアセスメント及びケアプランの今まで、このホームでしていた実体を見て、色々改良しなければと思う課題をしっかりと持っているので、今後の取り組みに期待しておきたい。 | ケアマネージャーもアセスメントやケアプラン、その基となる日常の生活記録の仕方等を改良していこうとする意気込みがあり、先ず利用者のアセスメントの改良から初めて欲しい。 |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の生活の中での様子、ケアの実践結果、気づきを大切に職員間で情報を共有、実践や介護計画を見直しできるよう取り組んでいきます。   |  |  |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人や家族の状況に応じて必要時通院送迎、散髪に連れていく支援には対応している。                           |  |  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 1人1人の暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮し安全で豊かな生活を楽しむことができるような自立した生活の実現を支援しています。   |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 受診は本人及び家族等の希望を大切にしています。身体状況により適切な医療が受けられるように支援しています。  | かかりつけ医への受診は家族の希望で対応している。受診に必要なホームでの生活情報や健康チェックデータ等はホームから提供することもある。本人の健康面はホームと家族が協力して医師との連携を保っている。               |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 介護職員は日常の関わりの中で情報や気づきを共有し必要性があれば看護師に相談し利用者が適切な受診、看護を受けられるよう支援しています。  |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者が入院された際、安心して治療できるように又、できるだけ早期に退院できるように情報交換相談に努めています。   |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 身体状況が重度化した時、又終末期の有り方について、早期より本人、家族の思いを大切に話し合いを行っております。事業所でできる事、方針を十分に説明し納得して頂いております。又地域の関係者と共にチームケアで支援させて頂いております。 | 重度化に関してはホームで生活可能である限り対応するように考えている。終末期の措置については家族の希望、本人の病的な状況と医師の判断に従い、ターミナルケアについてはよく話し合っ、ホームで出来る限りのことはしたいと考えている。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 利用者の急変や事故発生時に備え、スタッフ一同応急手当、初期対応の訓練を定期的に行い実践力を身に付けている。   |   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防署の協力を経て、避難訓練、避難経路の確認を定期的に行っています。  | 消防訓練、避難訓練はマニュアルや緊急連絡網に従い実施している。今頃は火災というより、地震や高潮、津波等に対する備えも重要になってくる。特に河川に近い場所である。                                |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 1人1人の人格を尊重した声かけをし、自己決定しやすい問いかけをするように努めています。                               | トイレや入浴時の下着を脱ぐ時の対応は、職員の声かけや態度が重要であることは良く認識している。職員間でも話し合っていると聞いた。                           |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 常に自己決定出来るように声かけをしています。意思表示が困難な方、発語が引き出せない方でも表情等で注意深くキャッチし本人が決める場面を作っています。 |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1人1人の体調や気持ちを重視し希望に添った支援が出来るよう努めています。                                      |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 毎朝の更衣や入浴時の着替えの準備等も複数のアイテムの中から本人に選んで頂くよう心がけています。                           |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事の下ごしらえや片づけも入居者様と共に行ったり、また職員とに入居者が同じテーブルで楽しく食事ができる雰囲気作りも大切にしています。        | 今日の昼食はお雑祭の散らし寿司、利用者にとっては大好きなメニューだったので、皆完食して、楽しそうな食事場面となった。”こんなご飯毎日作って欲しいなあ・・・”という声も上っていた。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 1人1人の摂取量や栄養バランスは把握している。また1人1人の状態に合わせて食べやすく調理する工夫をしています。                   |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 1人1人の状態に合わせて毎食後自室洗面所にて行っています。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|------|--|---|--|--|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 利用者の様子から敏感に察知し、又自尊心に配慮し、身体機能に応じて手を差し伸べたり歩行介助をしております。トイレでの排泄を大切にしながら紙パンツ、パット類も本人に合わせ利用しております。  | 利用者の表情や行動をしっかり見つけ、排泄の感覚の気づきにも努めている様子も現場で伺えた。排泄の基本は便座に座って行うように支援している。           | 認知症と言えども人間にとって一番生活の満足度を感じる所は排泄だと思う。今も職員は頑張っているが、末永く便器で排泄が出来るようケアに努めてもらいたい。 |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 排泄日を記録し便秘の方には繊維質の多いサツマイモやバナナなどの食材を提供しております。   |  |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 1人1人の入浴のタイミングに合わせて入浴を楽しめるよう安全な入浴又、体調の良し悪し又、入浴を拒む人に対しても言葉をかけたり、対応の工夫をしチームプレーによって1人1人に合わせた入浴支援を行っております。   | 入浴は1週間に2~3回入ってもらう。昼から入浴することが多い。車椅子の人はシャワー浴することもあるが、一人ひとりの希望を大切に支援している。         |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 1日の流れの中で1人1人の疲れ具合、体調や表情などを考慮して、ゆっくり休息がとれるように支援しております。眠れない方に対しては、その方のリズムを取り戻せるように1日の生活リズム作りに努めております。寝付けない時には温かい飲み物を飲みながら水分補給に気をつけ、ゆっくりお話ししたり、不安を取り除けるよう配慮しております。       |  |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 1人1人が服用する薬の目的や副作用、用法用量について理解し、飲み忘れや誤薬を防ぐための取り組みをしております。利用者の薬の処方効能副作用の説明をファイルに保管し、全職員に分かるように徹底しております。  |  |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 日々の暮らしが楽しみや張り合いのあるもの、又、自分らしく暮らせるよう植え木の水やりとか、洗濯物をたたんだり、食事作りなど役割を持って頂いております。地域の方の協力で一緒に野菜を作ったり、お花を植えたり、利用者の方の経験や体で覚え込んだ記憶を大切に、本人が生きることへの支援につながるように地域の方、スタッフと共に支援しております。 |  |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 短時間ですが、気分転換やストレス発散の為に散歩をしたり、車椅子の方も同様、戸外へ出て季節感をかんだりして、利用者の方とコミュニケーションを図っております。   | 寒い時は散歩を控えていたが、季節が良くなれば散歩が出来る人は近所の神社などへ行く。家族と一緒に外出する人もいる。全員で外食はないが、少人数で行くこともある。 |  |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 全員お小遣いはホームの金庫で預かっています。本人様の希望がある時に買い物をしています。                      |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | スタッフを通じやり取りができるように支援をしています。                                      |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者様同士の関係性にも配慮し穏やかに過ごせるよう工夫しています。リビングは季節感ある飾り付けをシーズンごとに行っています。   | リビングルームは利用者の憩いの場で、そこで色々なレクリエーションをする。作品や写真などを貼り、日常の利用者の行動を見ることが出来る。玄関からの一直線の廊下も使い歩行的ためのリハビリ運動にも使っている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングの席は入居者様同士の関係性や相性を配慮し、本人様了承のうえあらかじめ決まっていますが、時と場合によって譲り合っています。 |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室にはご家族と相談しながら本人様の使いなれた物や、好みの物を設置したり持参頂いたり居心地良く過ごせるよう工夫しています。    | 居室は利用者一人ひとりの生活の足跡を示している。元気な時に頑張っていた時の写真や免許を貼っていたり、このホームで作った作品や家族の写真が貼ってあり、それぞれの人生を読むことができる。          |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 1人1人の出来る事や分かることに配慮した身体状態にも応じた安全で、できるだけ自立した日常が送れるよう工夫してします。       |  |                   |